



平成30年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年1月11日

上場会社名 株式会社 東天紅 上場取引所 東
 コード番号 8181 URL http://www.totenko.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小泉 和久
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 管理部長 (氏名)佐藤 昇 (TEL)03(3828)6272
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第3四半期の業績(平成29年3月1日～平成29年11月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第3四半期	4,844	1.7	△162	—	△163	—	△155	—
29年2月期第3四半期	4,761	7.5	△240	—	△251	—	△265	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第3四半期	△60.59	—
29年2月期第3四半期	△103.48	—

(注) 平成29年9月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第3四半期	12,627	10,115	80.1
29年2月期	12,959	10,281	79.3

(参考) 自己資本 30年2月期第3四半期10,115百万円 29年2月期10,281百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年2月期	—	0.00	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 期末の配当につきましては、今後、業績の動向を勘案して決定してまいります。

3. 平成30年2月期の業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,850	2.0	0	—	0	—	△30	—	△11.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
 ※平成29年9月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い平成30年2月期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細は「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年2月期3Q	2,572,871株	29年2月期	2,572,871株
② 期末自己株式数	30年2月期3Q	4,254株	29年2月期	4,063株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年2月期3Q	2,568,736株	29年2月期3Q	2,568,820株

※ 平成29年9月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の業績予想について)

当社は、平成29年5月25日開催の第61回定時株主総会において、株式併合につき承認可決を受け、平成29年9月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い平成30年2月期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮して修正しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策、日銀の金融緩和政策の効果を背景に、企業業績の拡大や雇用・所得環境の改善による個人消費の回復等緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら一方で、米国の政策動向や、近隣諸国の地政学的リスクの高まりにより、先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

こうした状況のもとで、当社は、会社構造改革をさらに推進させ、売上目標の達成に努め、黒字化を目指してまいりました。

まず、引き続き成果にこだわるセールスの徹底により、新規宴会需要の掘り起こしや既存顧客の囲い込みを確実に実行し、宴会売上の確保に努めてまいりました。

また、各店舗において、グルメサイトへの訴求、WEB関連の広告をより強化し、SNS等の活用も進め、宴会及びダイニングでの客数増加に努めました。

さらに、顧客名簿と予約受注の一元管理システムの導入を行い、作業の効率化を図り、お客様のニーズに迅速に応えらると共に、顧客満足度の向上へとつなげるべく取り組んでまいりました。

次に、婚礼ブランド「LUCIS(ルーキス)」「Coeur et Coeur(クーレクール)」「LA VIE CLAIR(ラ ヴィクレール)」においては、引き続き各種媒体への積極的販促を行い、新規来館客の増加、成約率のアップ、売上増加に努めてまいりました。

とりわけ「LUCIS」においては、プランナーの増員を行い、新規来館数及び成約数の底上げを図りました。

平成29年8月、恵比寿ガーデンプレイスタワー39階フロア全体のリニューアルが完了し、「LUCIS GARDEN 恵比寿」を新規出店いたしました。これまでとは違った小型のレストラン店舗として出店、新たなビジネスモデルとして、幅広い客層のお客様にご利用いただける店舗となり、特に女性のお客様にご好評をいただいておりますが、収益貢献は次期以降となります。

以上の結果、当第3四半期の売上高は前年増を確保したものの、一部の店舗の宴会および、上野店以外の婚礼の来館客数が伸び悩んだことに加え、天候不順や改装による休業の影響もあり前年同四半期比1.7%増の48億4,438万円に留まり、人手不足による人材確保の経費増もあり、営業損失1億6,286万円(前年同四半期は営業損失2億4,097万円)、経常損失1億6,348万円(前年同四半期は経常損失2億5,121万円)、四半期純損失1億5,563万円(前年同四半期は四半期純損失2億6,582万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ3億3,272万円減少いたしました。

これは主に、四半期純損失の計上及び、賃貸用不動産の取得、借入金の返済等により、現金及び預金が14億2,525万円減少したことなどにより流動資産が12億5,502万円減少、固定資産は有形固定資産が「賃貸用不動産」の取得等により9億3,475万円増加、投資有価証券の売却及び時価評価により2,135万円減少したことなどにより9億2,229万円増加いたしました。

負債は、前事業年度末に比べ1億6,661万円減少いたしました。

これは主に、買掛金が5,904万円の増加及び、流動負債その他の未払金が1億218万円の増加、借入金が返済により1億2,122万円減少したこと並びに、法人税の支払に伴う未払法人税等が2億500万円減少したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ1億6,611万円減少いたしました。

これは主に、四半期純損失1億5,563万円を計上したことなどによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成30年1月11日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,908,148	482,892
売掛金	338,095	442,318
商品及び製品	7,256	7,266
原材料及び貯蔵品	72,512	85,804
その他	76,943	129,653
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	2,402,655	1,147,634
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,115,785	4,272,521
土地	2,977,925	3,820,851
その他(純額)	655,810	590,906
有形固定資産合計	7,749,521	8,684,279
無形固定資産		
	24,299	17,744
投資その他の資産		
投資有価証券	147,408	126,056
差入保証金	1,428,314	1,432,332
長期未収入金	987,873	987,873
その他	220,471	231,896
貸倒引当金	△600	△600
投資その他の資産合計	2,783,468	2,777,558
固定資産合計	10,557,289	11,479,582
資産合計	12,959,945	12,627,216
負債の部		
流動負債		
買掛金	141,450	200,495
短期借入金	656,125	645,800
未払法人税等	205,000	-
賞与引当金	67,000	16,000
その他	403,464	500,691
流動負債合計	1,473,039	1,362,986
固定負債		
長期借入金	110,900	-
長期未払金	140,194	140,194
繰延税金負債	220,568	211,282
再評価に係る繰延税金負債	129,796	129,796
退職給付引当金	603,586	607,121
その他	-	60,093
固定負債合計	1,205,046	1,148,488
負債合計	2,678,085	2,511,475

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成29年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,572,092	2,572,092
資本剰余金	6,561,688	6,561,688
利益剰余金	2,530,369	2,374,736
自己株式	△9,303	△9,738
株主資本合計	11,654,846	11,498,778
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	45,515	35,466
土地再評価差額金	△1,418,503	△1,418,503
評価・換算差額等合計	△1,372,987	△1,383,037
純資産合計	10,281,859	10,115,741
負債純資産合計	12,959,945	12,627,216

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
売上高	4,761,744	4,844,386
売上原価	2,201,076	2,190,545
売上総利益	2,560,667	2,653,841
販売費及び一般管理費	2,801,640	2,816,702
営業損失(△)	△240,972	△162,861
営業外収益		
受取利息	256	3
受取配当金	2,472	2,527
未回収商品券受入益	888	1,167
保険配当金	2,002	2,085
その他	2,250	1,929
営業外収益合計	7,870	7,713
営業外費用		
支払利息	11,788	6,156
設備休止費用	5,121	-
その他	1,203	2,181
営業外費用合計	18,113	8,337
経常損失(△)	△251,215	△163,485
特別利益		
投資有価証券売却益	-	12,972
特別利益合計	-	12,972
特別損失		
固定資産除却損	507	3,027
店舗閉鎖損失	38,305	-
特別損失合計	38,812	3,027
税引前四半期純損失(△)	△290,028	△153,540
法人税、住民税及び事業税	13,612	6,947
法人税等調整額	△37,813	△4,854
法人税等合計	△24,201	2,092
四半期純損失(△)	△265,826	△155,632

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、料理・飲食物の加工調理提供を主要業務とする飲食店のほか付随的に外販・不動産賃貸等を営んでおりますが、飲食店としての事業がほとんどを占めており実質的に単一セグメントのため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。